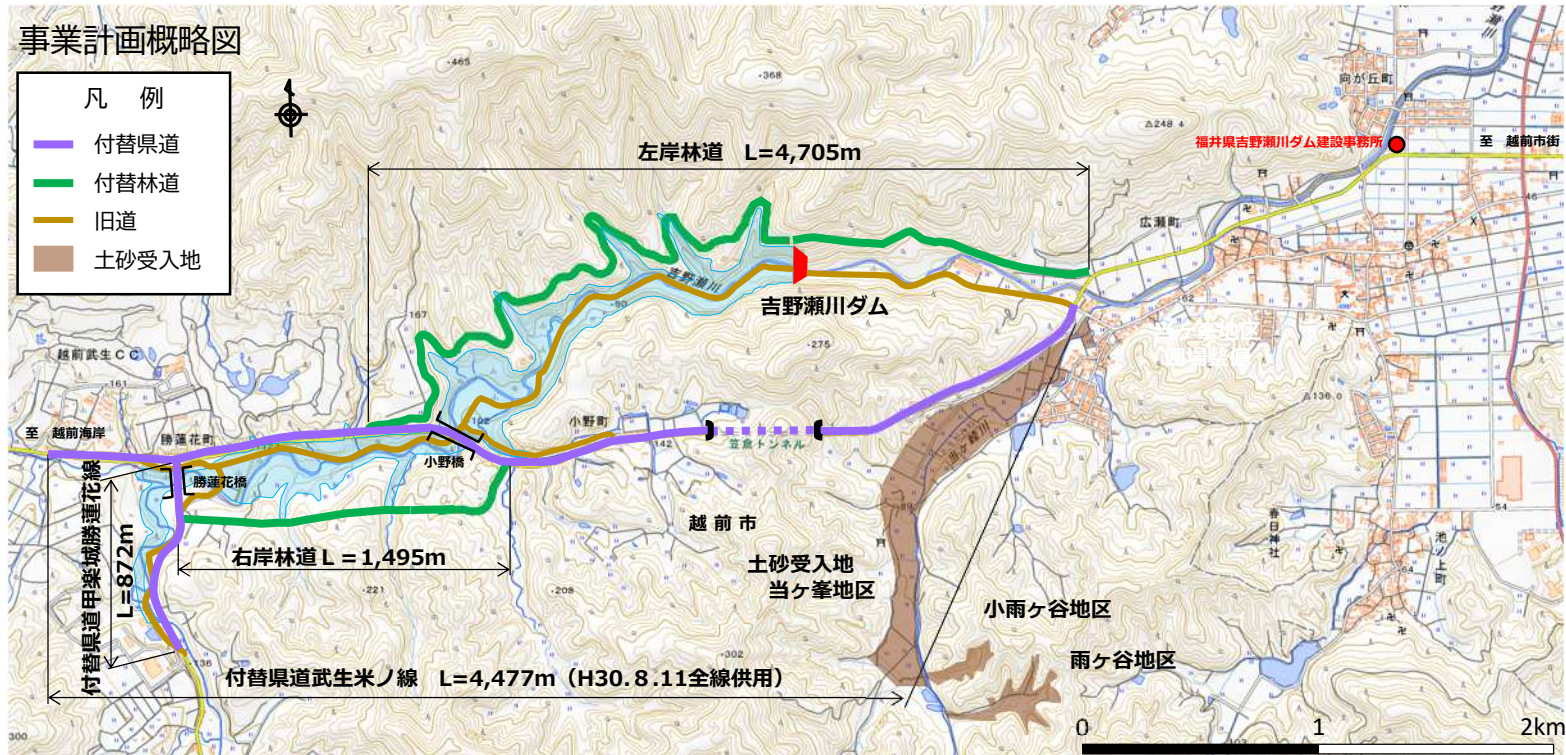


付替道路等の整備

ダム建設に伴う付替道路として、県道2路線・林道2路線の整備を進めています。
また、ダム本体工事や付替道路工事により発生する土砂を3地区で受け入れています。



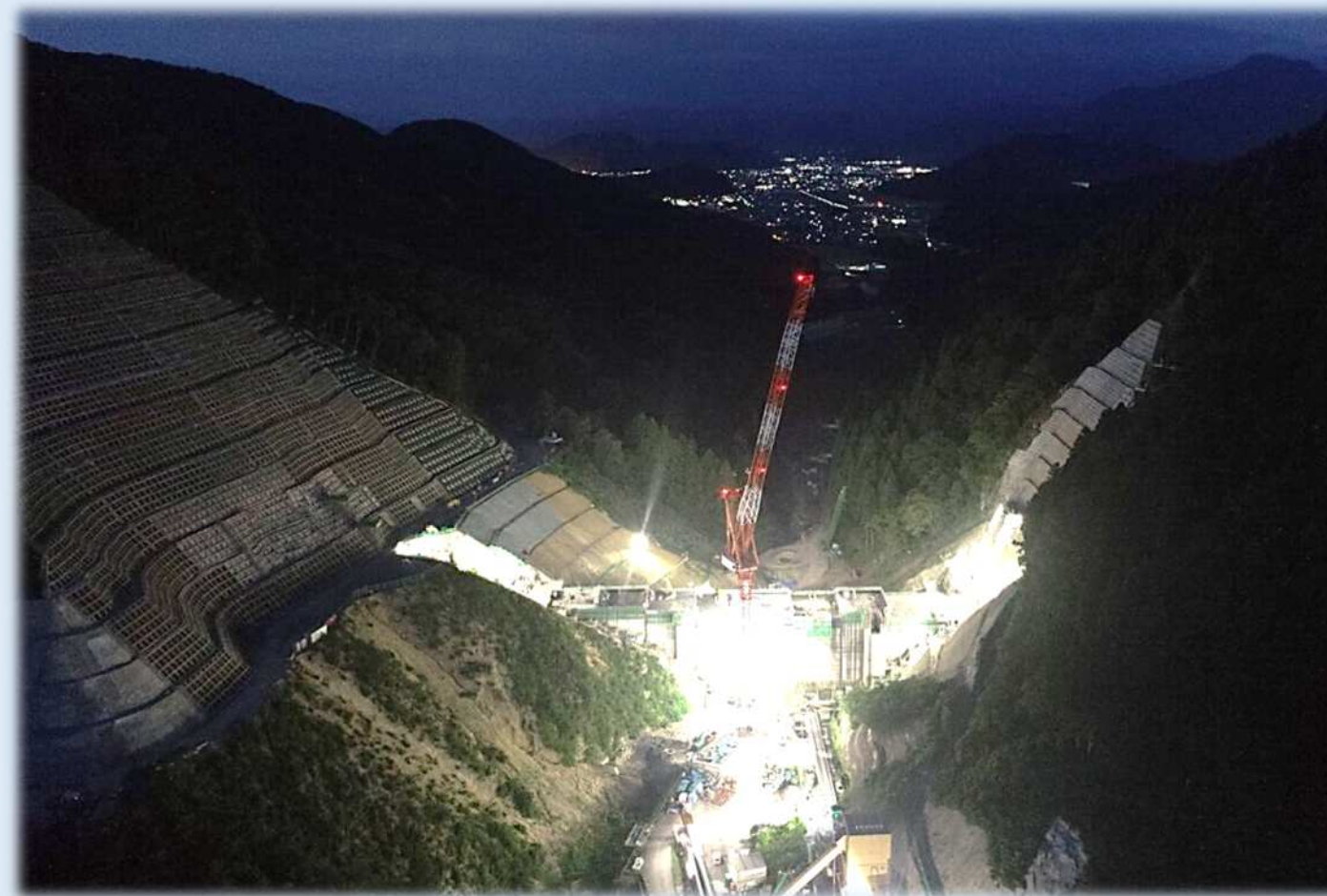
R3.4.27坂口小学校 勝蓮花橋お絵かき会
(舗装前のコンクリート床版に描画)



小野橋 (付替県道武生米ノ線)

吉野瀬川ダム

Yoshinosegawa Dam



ダム建設現場上流から越前市街地を望む

ダムカード配布中

令和3年11月からダムカードの一般配布を実施しています。
ダム建設事務所への訪問またはダムツーリズム等のダム見学会を参加された方にお渡ししています。
ダム本体工事の工程に合わせて新バージョンを作成していきますので、お楽しみに！



■お問い合わせ

福井県吉野瀬川ダム建設事務所
〒915-0872 越前市広瀬町113-5
TEL(0778)21-0020

◆ダム建設事業の詳しい情報は、YoutubeやX(旧Twitter)でも発信しています。
ぜひ、チェックしてみてください！

ホームページ



Youtube



X(旧Twitter)



福井県マスコットキャラクター
「はびりゅう」



地味にすごい福井
"JIMI NI SUGOI" FUKUI

令和6年9月作成

吉野瀬川ダム建設事業の概要

吉野瀬川流域図



吉野瀬川は、その源を矢良^{やらの}集岳に発し、越前市街地や鯖江市街地を流下して日野川に合流する流域面積59.0km²、流路18.02kmの一級河川です。

吉野瀬川流域では、台風や梅雨豪雨などにより、たびたび家屋や農地が被害を受けてきました。このため、上流のダム建設と下流の河川改修による治水対策を図る整備計画が立てられています。また、吉野瀬川は、耕作地の水源としても利用されていますが、過去には大きな渇水被害も発生しています。

吉野瀬川ダムは、こうした流域の洪水被害と渇水被害の軽減を目的として、建設を進めています。

〔洪水被害〕



平成10年9月(越前市家久町付近)

〔渇水被害〕



平成6年8月(越前市広瀬町付近)

事業の経緯

年月	主な経緯
昭和61年(1986)	実施計画調査事業採択
平成 3年(1991)	建設事業採択
平成14年(2002)	補償基準締結
平成19年(2007)	貯水池予定地の全37戸移転完了
平成30年(2018)8月	付替県道武生米ノ線全線供用開始
令和 3年(2021)3月	ダム本体工事着工
令和 5年(2023)4月	ダム本体コンクリート初打設
令和 5年(2023)10月	吉野瀬川ダム定礎式

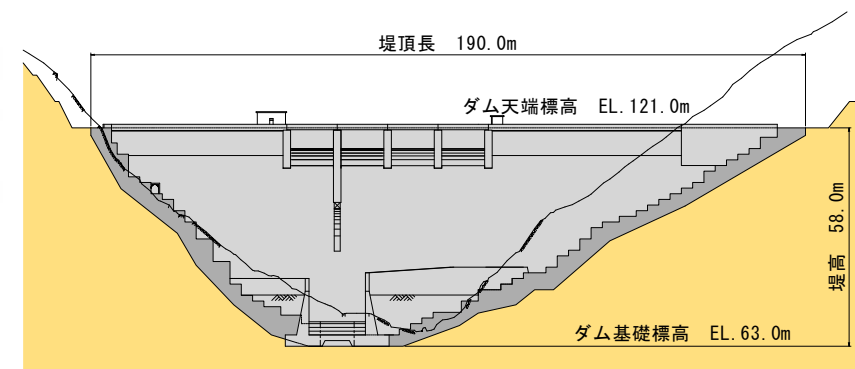


移転前の小野町集落

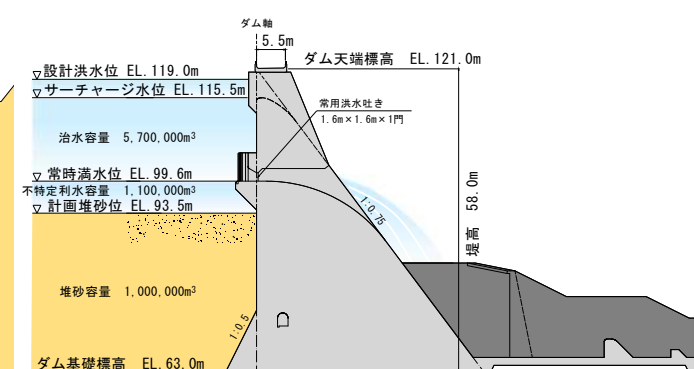
移転前の勝蓮花町集落

(旧集落写真は、「ふるさとの原風景を心に 小野・勝蓮花物語」より引用)

ダム下流面図



ダム標準断面図



ダム・貯水池の諸元

河川名	九頭竜川水系 吉野瀬川
ダム建設地	福井県越前市広瀬町
ダム型式	重力式コンクリートダム

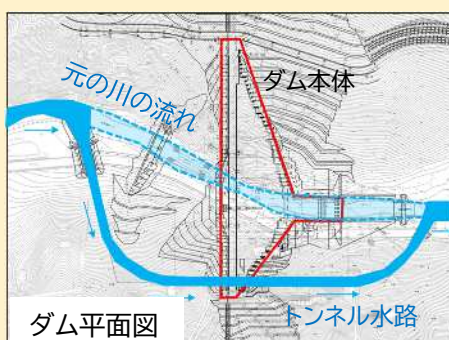
堤高	58.0m
堤頂長	190.0m
堤体積	137,170m³

集水面積	24.0km²
湛水面積	0.51km²
総貯水容量	7,800,000m³

ダム本体工事の工程

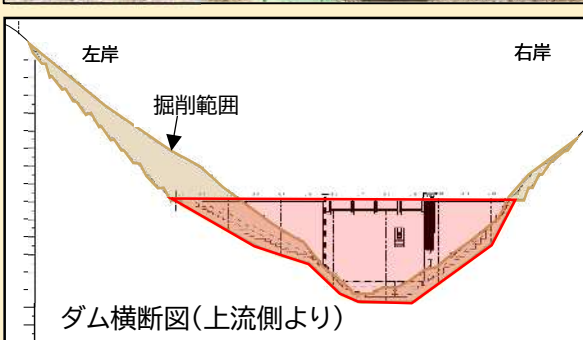
① 転流

水の流れている川の中ではダム建設ができないため、トンネル水路を造り川の流れを切り替えました。



② 基礎掘削

ダム本体を固くて丈夫な岩盤の上に乘せるため、土砂や脆い岩を掘削しています。



③ 堤体打設

水を貯めるためのダム本体をコンクリートで造ります。コンクリートを現場内で製造し、タワークレーンで吊ってダムの中に運び、放出したコンクリートを大型振動機械で締め固めてダムを造り上げます。

現場内プラント(コンクリート製造設備)



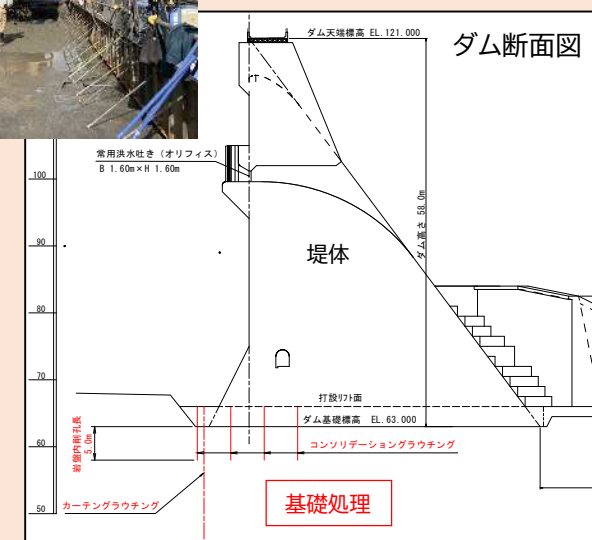
コンクリート打設状況



④ 基礎処理

貯めた水がダム周りの岩盤から漏れないように、岩盤に穴を掘ってセメントミルクを注入します。

基礎処理状況



⑤ 試験湛水

試験的に洪水時の水位(サーチャージ水位)まで水を貯め、ダム本体や貯水池の安全を確認します。この試験で安全性が確認されると、ダムの供用を開始します。

試験湛水の状況(参考:河内川ダム)

